

労務アドバイス VOL.15

～年頭の所感について～

新年、明けましておめでとうございます。

2018年がスタートいたしました。東京オリンピック開催まで2年を切り、各所で準備が進められています。特に建設業界の人手不足は深刻で、職人の工賃もうなぎのぼりだと聞きます。ただ、その後の反動が心配です。日本では今後も少子高齢化により、ますます労働力の不足が懸念されます。特にサービス業を中心とした業界では、かなりシステム化が進んでいます。たとえば、スーパーで食品等を購入した際の支払いなどは、機械精算となっているところが多く、少ない人員で回せるオペレーションへの取り組みが垣間見られます。

我々の業界もかなりシステム化が進んでいると言えます。大きなところでいうと、労務管理のシステムです。これまで、タイムカードにより時間管理をし、その後、給与計算担当者が手作業で一人一人労働時間や、残業時間の集計をする、といったことが主流でしたが、今や、タッチパネルに触れる（あるいは非接触）ことにより、勤怠データが瞬時に、本社のサーバーに送信され、自動集計される、というものです。最近では、かなりスマートフォンも普及していますので、スマホの画面をタッチするだけで、出先での業務終了時刻を、本社に転送することも可能となっています。人手で行っていた集計をシステム化することで、大幅に合理化することができ、また集計ミスも激減します。2017年度より、政府も「生産性」をキーワードに様々な施策を打ち出しています。生産性向上に取り組み、一定の成果を上げた企業に対し、減価償却の優遇措置や助成金の上乗せなどがそうです。

当事務所でも、生産性向上を対象とした助成金の情報も数多く持っています。自社での取り組みが可能かどうか、お気軽にご相談下さい。



社会保険労務士法人リップル 代表社員 神田 真弓

〒274-0063

千葉県船橋市習志野台 2-12-29 ASビル 202号

TEL:047-496-0600 FAX:047-496-0601

e-mail:info@sr-ripple.com

URL:http://sr-ripple.com